

建設水道課

土地建物貸付収入減少の原因は何か

東出委員 財産収入の土地建物貸付収入で、調定額に対して収入額が4分の1と随分少なくなっています。どのような対応をしているのでしょうか。

若山建設水道課長 亡くなっているかたや行方不明のかた、生活困窮者で支払いが滞っているかたもいます。

また、納付書等を送っても宛所不明のかたについては、荷物を置いたままで勝手に処分できない状況となっています。

今後、退去に向けて顧問弁護士等と相談の上、対応を検討していきたいと思っています。

下水道接続率向上策設置費用等が足かせ

佐藤委員 下水道の接続率は、約56%と計画より若干上回っていますが、残りのかたの将来的な考えはどうですか。

若山建設水道課長 事業着手前に行った住民アンケートでは、7割のかたが接続したいという意向はあり随時、お願いはしています。

高齢や費用のことも

あり、決めかねているかたが多いと思っております。

保健福祉課

介護保険料不納欠損事務手続きは万全か

平野委員 介護保険料が不納欠損になっていますが、どうなっていますか。

高橋主査 介護保険料の不納欠損は、介護保険法第20条で2年を経

過すれば時効となりません。

不納欠損となったかたは、給付割合が9割から7割に引き下げられるペナルティー措置を受けることになりました。

子宮頸がんワクチン副作用の事例はないか

吉田委員 近年、マスク等で子宮頸がんワクチンに対する副作用の報道がされていますが、当町では事例があるのでしょうか。

加藤保健師 接種は、町内の3つの医療機関にお願いしていますが、大きな副作用は1件も出ていません。

ただ、接種の時に強い痛みがあったお子さんが1名おり、3回の接種が1回で終わっています。



佐女川地区で行われた下水道工事
接続率の向上が求められています

決算審査所見（要約）

平成24年度各会計決算は、長期にわたる経済状況の低迷により、引き続き税や使用料等の収納率が伸び悩んでおり、各課による一層の連携や新たな視点による収納対策を検討すべきである。

景気悪化に伴う雇用不安や少子化、特に当町は高齢化比率も高いなどの諸課題が山積している。ますます多様化する住民ニーズの中において、行政サービスの質的・量的な向上も求められている。

政府による景気回復策は図られているが、地方ではまだまだその実感も感じられない状況にある。すでに実施されている電気料金の値上げをはじめ今後、消費増税も予定されていることから、早急に費用負担増となる試算を行う中で、新年度予算編成に当たられたい。

また、国保病院については、平成26年度に診療報酬の改定も予定されており、早急に不足する医師の充足を行うとともに、地域住民のニーズに適合した診療形態を図られたい。

決算審査を終えて

決算審査特別委員会
委員長 竹田 努

平成24年度決算審査特別委員会は少数精鋭の中で厳しい意見や議論もありましたが、無事終えることが出来、全会計が認定となりました。

平成24年度も総じて新幹線関連事業や駅周辺整備事業、国の交付金活用等による事業効果もあり町財政もやや安定してきたと言えます。現在の基金等は約16億円で、財政健全化計画の効果や町民が一丸となって取り組んだ成果の表れだと感じています。

今後は、国の消費増税等も視野に入れつつ、財政好転の兆しもある中で、町が元気になる大胆な事業展開に期待しています。